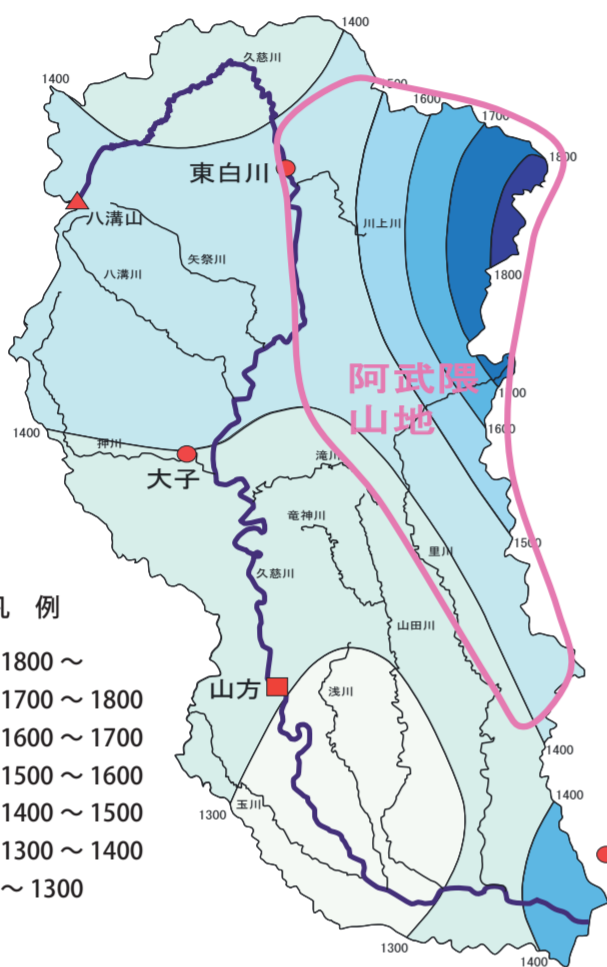


# 知っていますか？

# 久慈川の水害

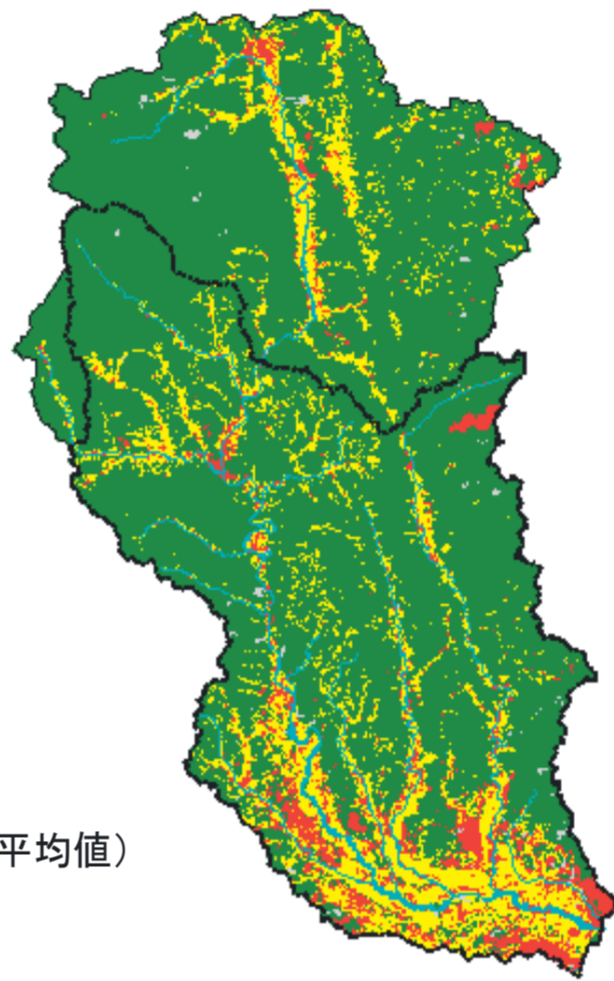
山間部で雨が降りやすく、下流部には人口が集中



流域の年平均降水量は約1,300mm  
阿武隈山地で雨が降りやすい。

【年間降雨量分布図】

●日立(昭和52年～平成18年の30カ年平均値)



流域内人口は約20万人。  
市街地が発達する下流部に人口が集中しています。

久慈川の土地利用  
(国土数値情報:平成21年)

凡例

●: 農耕地 ●: 山林・荒地  
●: 市街地 ●: 河川・湖沼  
●: その他(空き地等)

ひとたび洪水が起きると、  
複数の支川が合流する下流部の水害リスクは高い

## 久慈川における水害の歴史

久慈川ではこれまで  
たびたび洪水が発生し、  
大きな被害を受けています。

昭和以降の主な水害

年月(西暦)	被害状況
昭和13年6・7月(1938)	台風による洪水。浸水戸数450戸、全半壊12戸
昭和16年7月(1941)	台風第8号による洪水。
昭和22年9月(1947)	カスリーン台風による洪水。浸水戸数不明。
昭和36年6月(1961)	前線豪雨による洪水。浸水戸数341戸
昭和57年9月(1982)	台風第18号による洪水。浸水戸数50戸。
昭和61年8月(1986)	台風第10号による洪水。浸水戸数755戸。
平成3年9月(1991)	台風第18号による洪水。浸水戸数413戸。全半壊1戸。
平成11年7月(1999)	停滞前線による洪水。浸水戸数46戸。
平成23年9月(2011)	台風第15号による洪水。99戸。

### 昭和13年6、7月洪水(台風)

- 既往最大降雨(2日間雨量238mm)
- 久慈川及び里川で堤防が決壊し、現在の常陸太田市の広い範囲で浸水被害が発生



浸水した市街地(常陸太田市)

### 昭和16年7月洪水(台風)

- 幸久村(現常陸太田市)や東小沢村(現日立市)の家屋浸水状況



東小沢村の溢水状況(現日立市留地先)

### 平成11年7月洪水(停滞前線)

- 富岡、榊橋、常井橋で警戒水位を超え、常陸太田市の無堤箇所より浸水、直轄管理区間の浸水面積は218ha、床下浸水8戸、榊橋付近の低水護岸被災



東海村豊岡地先



久慈川・那珂川流域における減災対策協議会

【問い合わせ先】



国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所